

職能要件書 職能評価シート

職種	理学療法士
専門部署	リハビリテーション部共通

完全にできている	0	←半角数字の「0」(ゼロ)を入力
まだ不十分	*	←半角の「*」(アスタリスク)を入力

「0」が90%以上あれば、この等級は完全クリアーしている。

部署	
氏名	
現状把握時の等級	
仮格付け時の等級 (給与レベルにあった 当初の等級)	
第1回評価時の等級	
第2回評価時の等級	

【入力手順】

- 今年度の等級を左枠で確認し、該当等級までの項目を全てチェックして下さい。
(該当しない項目はその行を削除してください)
- 「等級」は「独力対応等級」の欄に記載してあります
- 「0」又は「*」を入力 (○×は入力が大変な為、この記号を使用します)
※次年度は「*」の付いている項目のみチェック。但し、等級が上がる方は上の等級もチェックが必要です。

単位業務 (大まかな区分)	作業名	作業内容 (～して～ができる)	独 等 力 対 応	現状レ ベル把 握の 為の評 価	第1回 評価 ()	第2回 評価 ()
物品、機器の管理	リハビリ関連機器及び備品の 活用・管理・指導	1 運動療法機器の特徴を理解し、定められた手順に従って安全に使用・管理ができる	1			
		2 物理療法機器の特徴を理解し、定められた手順に従って安全に使用・管理できる	1			
		3 介護機器の特徴を理解し、安全に使用できるよう管理・指導ができる	1			
		4 患者の状態に適合する歩行補助器具の選択ができ、安全で有効な使い方、管理への助言ができ、点検・修理が適切にできる	1			
		5 患者の状態に適合する車椅子の選択ができ、安全で有効な使い方、管理への助言・点検・修理が適切にできる	1			
	リハビリ関連機器及び備品の管 理	1 杖、装具、包帯類、等の在庫確認が的確にでき、発注、清潔な保管管理ができる	1			
		2 図書、文献、雑誌、ビデオなどの整理・管理ができる	1			
		3 部署内の書類、消毒液などの在庫確認ができ、発注、清潔な管理ができる	1			
4 部署内各部屋の環境整備(温度、整理整頓、清掃)ができる		1				
部門外活動(1)	院内行事・会議への参加	1 院内行事に参加し準備、協力ができる	1			
		2 各種委員会や会議に参加し、準備、協力ができる。	1			
理学療法評価	患者・家族、他医療機関からの 情報の収集・観察	1 患者、家族との面接から適切に情報の収集ができる	1			
		2 本人、家族のニーズの把握が的確にできる	1			
		3 他の部署からの情報収集ができる	1			
		4 他の医療・福祉機関の担当者から情報の収集ができる	1			
		5 精神状態の把握が的確に出来る	1			
		6 バイタルチェックが正確にできる	1			
	身体機能評価(1) (評価票の作成)	1 各種疾患に応じてテスト項目の選択ができる	1			
		2 肢長、周計など形態測定目的・内容を理解し、測定機器を正しく使った測定ができ、患者の障害の状況を正確に把握できる	1			
		3 関節可動域テストの目的・内容を理解し、測定機器を正しく使った測定ができ、患者の障害の状況を正確に把握できる	1			
		4 筋力テストの目的・内容を理解し、測定機器を正しく使った測定ができ、患者の障害の状況を正確に把握できる	1			
		5 知覚テストの目的・内容を理解し、測定機器を正しく使った測定ができ、患者の障害の状況を正確に把握できる	1			
		6 一般反射テスト(表在、深部)の目的・内容を理解し、測定機器を正しく使った測定ができ、患者の障害の状況を正確に把握できる	1			
		7 協調性テストの目的・内容を理解し、患者の協調性障害の状況を正確に把握できる	1			
		8 筋トーンテストの目的・内容を理解し、患者の筋トーン障害の状況を正確に把握できる。	1			
	9 片麻痺運動機能テストの目的・内容を理解し、片麻痺患者の障害の状況を正確に把握できる	1				
	10 脳神経テストの目的・内容を理解し、患者の脳神経障害の状況を正確に把握できる	1				
	11 歩行・姿勢などの動作分析の目的・内容を理解し、患者の動作分析ができる。	1				
	12 姿勢反射・バランステストの目的・内容を理解し、測定機器を正しく使った測定ができ、患者の障害の状況を正確に把握できる	1				
	13 各検査の結果を記録用紙に適切に記録できる	1				
	14 運動機能各検査の結果をまとめ考察し報告書が作成できる。	1				

単位業務 (大まかな区分)	作業名	作業内容(～して～ができる)	独 力 対 応 等 級	現状レ ベル把握 の為の評 価	第1回 評価 ()	第2回 評価 ()
理学療法評価	日常生活動作の評価 (評価票の作成)	1 起居動作の評価が、動作の種類・内容・状況を考慮して、的確にできる	1			
		2 食事動作のできる能力を見極め、介助の度合いを考慮した評価ができる	1			
		3 車椅子からベッドへの移乗動作の能力を見極め、介護の度合いを考慮した評価ができる	1			
		4 整容動作のできる能力を見極め、介助の度合いを考慮した評価ができる	1			
		5 排泄動作のできる能力を見極め、介助の度合いを考慮した評価ができる	1			
		6 入浴動作のできる能力を見極め、介助の度合いを考慮した評価ができる	1			
		7 歩行能力を見極め、介助の度合いを考慮した評価ができる	1			
		8 応用歩行(階段、スロープなど)能力を見極め、介助の度合いを考慮した評価ができる	1			
		9 更衣動作のできる能力を見極め、介助の度合いを考慮した評価ができる	1			
		10 排便コントロールの状況を正確に評価し、介助の度合いを考慮した評価ができる	1			
		11 排尿コントロールの状況を正確に評価し、介助の度合いを考慮した評価ができる	1			
		12 各検査の結果を記録用紙に適切に記録できる	1			
		13 ADL各検査の結果をまとめ考察し報告書が作成できる。	1			
	問題点の抽出と報告	1 評価全体から問題点を抽出し、実施計画書を作成し報告できる	1			
理学療法訓練・治療	物理療法の実施	1 必要に応じた物理療法計画の作成ができる	1			
		2 物理療法の適応と禁忌の確認が的確にできる	1			
		3 症例に適する機器の選定がすみやかに、的確にできる	1			
		4 必要・症状に応じた、温熱療法の実施ができる	1			
		5 必要・症状に応じた(電気治療)物療機器の実施ができる	1			
		6 安全で正しい機器の操作ができる。修理マニュアルを参考にできる範囲の修理ができる	1			
基本動作	アクシデント・インシデント対応 ①	1 インシデントについて理解し報告をしている	1			
		2 患者の訓練中の急変に対し、適切に行動できる。	1			
		3 担当患者以外でも事故に対する応急処置及び連絡等に協力ができる	1			
		4 事故状況を正確に、速やかに主治医・担当部署へ連絡ができる	1			
	カイゼン推進	1 カイゼンについて理解し案を提出している。	1			
	情報の伝達	1 電話等の連絡を受けた内容をすみやかに、正確に伝達できる	1			
		2 上司もしくは他スタッフに連絡、相談が適切にできる	1			
時間調整	1 円滑な訓練を行うためのスケジュール管理ができる	1				
教育・研修	学習会の実施①	1 部署内勉強会で文献抄読、ケースカンファレンスができる	1			
	研修会への参加	1 外部の研修会への参加手続き、報告書の提出、学習会での発表ができる。	1			
カンファレンス	カンファレンスへの対応	1 カンファレンスで患者の状態を適切に報告できる	1			
		2 カンファレンスで決まった方向性に沿って訓練内容を修正できる	1			
理学療法の実施	理学療法の実施手順の把握	1 理学療法の開始より終了までの流れを把握して、問題なく実施できる。	1			
		2 医師への相談・報告、カンファレンスへの参加など滞りなくできる。	1			
		3 リハビリに関する診療報酬制度を理解し適切に医事課への実施表提出ができる	1			
理学療法訓練・治療	基本動作訓練の実施	1 ベッドサイドでのポジショニングが適切に出来る。	1			
		2 安全で有効な、起居動作訓練の実施ができる	1			
		3 安全で有効な、立位・歩行訓練・階段昇降訓練の実施ができる	1			
		4 適切な歩行補助器の選択と安全で有効な訓練の実施ができる	1			
		5 安全で有効な車椅子訓練の実施ができる	1			
		6 トランスファーの訓練が適切に実施できる	1			
1等級職員の等級判定(○の個数)			個数	0	0	0
1等級職員の○取得率			72	0%	0%	0%